

暴力団員による市営住宅の使用の制限に関する協定 国東市と国東警察署が調印

市と国東警察署の間で、暴力団員に対する市営住宅等の使用制限措置に関する協定を締結しました。

この協定は、自治体と警察署が連携し暴力団の排除を目的に全国的に広がっているもので、暴力団員の市営住宅入居を認めないとした市営住宅条例が、3月に改正されたのを受けて締結されました。

3月19日(木)に市役所で行われた調印式で、野田侃生市長と国東警察署の足立正人署長が協定書に署名しました。

野田市長が「今後、国東警察署の協力を得て、暴力団員の入居を絶対に許さない、安心・安全なまちづくりに取り組みます」とあいさつしました。

現在、市内には、50団地、1005戸の市営住宅があります。



△協定書調印ご握手する(左から)野田市長と足立署長

南九州コカ・コーラが 災害用備蓄飲料水を寄贈

南九州コカ・コーラボトリング株式会社から、備蓄用飲料水60ケース(300本)を市に寄贈していただきました。

同社は、国東市と昨年10月に「災害時における救援物資提供に関する協定」を結んでおり、災害時に無料で飲料水などを提供できる災害対応型自動販売機が、市内7カ所に設置されています。



自衛隊新入隊者激励会

3月15日(日)、平成20年度自衛隊新入隊者激励会が、2人の入隊者と保護者をはじめ自衛隊・市関係者約40人が参加して、アストくにさきで行われました。今年度は、陸上、海上自衛隊にそれぞれ1人ずつの入隊となりました。

激励会では、野田侃生市長、諸富忠市議会議長、大分地方協力本部の北村耕一総務課長が入隊者を激励し、入隊者を代表して国東町の岩本拓也さんが「皆様方の期待にこたえられるよう、自衛官として一生懸命頑張ります」と謝辞を述べました。



△謝辞を述べる岩本拓也さん(右)と陸上自衛隊に入隊する倉永源一郎さん

介護保険の財源

介護保険制度は、40歳以上の方に納めていただく保険料と公費を財源に運営しています。

65歳以上の方の納める保険料は、財源の約20%を占める大切なものです。

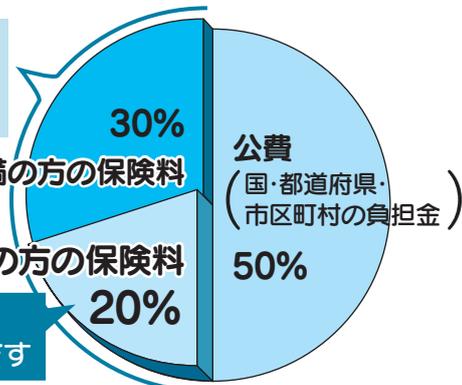
制度の健全な運営のために保険料の納付にご協力をお願いします。

平成21年度から
保険料の負担割合が
変更になります

40歳以上65歳未満の方の保険料

65歳以上の方の保険料

財源の約20%が
65歳以上の方の保険料です



※この他に介護サービスを利用した方が支払った利用料も財源となります。